

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上小地域のおもてなし料理の研究開発
事業主体 (連絡先)	長野県旅館ホテル組合会上小支部 長野県上田市別所温泉
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,038,919 円 (うち支援金 : 777,000 円)

事業内容

上小地域を4ブロックに分け(上田・菅平、別所・田沢、鹿教湯・霊泉寺、姫木平・長和町)上小地域の食材を使用した料理開発を講師と共に行い、講演会及び各ブロックの料理発表を行った。
料理内容は3品(前菜、メインディッシュ、デザート)とし合計原価を1,000円以内に設定する。和食、洋食などジャンルは問わないが、長寿長野県及び「山ごはん」をテーマとし各料理には必ず県農政部「おいしい信州ふど」で推奨される食材を用いることとそれぞれのカロリー計算を導入した。
各ブロックで開発した料理はすべて、上小地域の推奨料理としてレシピを作成、公開し、上小地域の新しい料理としてパンフレット(レシピ本)の作成、メディアへの紹介を行った。



- 1、上小地域のおもてなし料理研究発表会
実施日時 平成28年11月15日
13:00~15:30
場所 鹿教湯温泉交流センター
参加人員 78名(来賓10名、会員37名、マスコミ7名、関係者24名)
- 2、山ごはん、レシピ本の作成、納品
納品日 平成29年3月9日
部数 1,000部
◎上小地域会員130軒に配布
◎地区観光協会会員 約300件に配布
◎県組合会会員972軒の希望者に配布
及び全組合員で共有



事業効果

この事業は近年、長野県旅館ホテル組合会において、組合員の行事に対する参加意識が希薄になっている実情があるが、この実情を解決する為、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映、2017年信州DCの実施をこの上小地域をアピールする絶好の機会ととらえ、参加意識を高め、それぞれのパワーを結集することにより、観光客を迎えおもてなしをすることを目的としている事業である。そのため全体での数値のとらえ方に困難はあるが、各施設前年比売上10%UPを期待したい。

- ① おいしい信州ふード推奨もしくは地物食材を使用し、それぞれの地域の特徴を最大限活かしたアイデア料理が多数発表でき、新たな名物料理として売り出す一助となった。
- ② 業界ではタブー視されていた独自料理をレシピ化、配布することで、それぞれの施設で活用、アレンジすることで、更なる発展が期待できる。
- ③ 山ごはんをテーマとした、信州DCの誘客に対し、食の観点から上小地区の誘客アピールを全面的に行える。

【目標・ねらい】

- ① 上小地域の食材を発掘し、地産地消として新たな料理メニューの研究開発
- ② 旅館ホテルで提供するおもてなし料理メニューの確立
- ③ 2017年信州DCに向け、テーマに沿った山ごはんをPR材料として利用することによる誘客

※自己評価 【 A 】

【理由】

・食を通じて上小地域の旅館ホテルが改めて地域の食の魅力に対して研究開発を重ねることで自信と感心が深まった。
 また、それぞれの組織の参加意識が向上した点。

今後の取り組み

2017年7月～9月に開催されるJR東日本信州ディステーションキャンペーンにおいて上小エリアの「山のご飯・山の酒」をテーマとする食のおもてなしとして、レシピ化したメニューを推奨し、地域のPRに最大限活用する。

また、山の酒についても今回の地域の連携を活かし、県組合会青年部がネットワークを構築している県酒造組合と連携を行い、料理メニューに合った日本酒地酒の推奨や地区での飲み歩きといったイベントも積極的に取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある